

地域型住宅ブランド化事業



いばらきnodo住宅ラボとは？

茨城の県産材(八溝杉・真壁石・笠間焼・西ノ内和紙等)を使用し、気候風土を考慮して長寿命(長期優良住宅)を軸に地域に貢献、絆を深める住宅を提供しています。

地域の木材仕様

JAS認定工場の合法木材を使用し、含水率20%以下の茨城、栃木、福島にまたがる八溝山系の杉や桧を主要構造部の50%以上、構造部以外でも地域材を使用します。

◆八溝杉◆

八溝山は気候、土壌、地形に恵まれており、砂質分が多めで水はけや通気性が良く、杉などの針葉樹の育成に適しています。その為、八溝杉は年輪の幅が狭く、密度や強度が高く、地震に強い構造材として重宝される地域材です。



茨城の芸術

茨城は水戸黄門や農業、納豆など伝統的な工芸品や革命的な品々までモノづくりが得意な為、全国から作り手が集まり住む芸術の街です。そんな素晴らしい芸術(特産材)を暮らしの中に取り入れることで素敵な空間を作ることができます。

◆石の芸術(真壁石)◆

石の街、蔵の街で知られる真壁地区は、御影石の生産量日本一です。真壁石は「白御影石」で、石自体の表情はやさしい色目です。中国産など輸入石との大きな違いは、光沢があり風雪の劣化が少なく、水を吸っても抜けていくのが特徴です。見栄え・繊細さ・長持ちと三拍子揃った石です。

真壁石の施工例



◆土の芸術(笠間焼)◆

笠間焼は江戸時代から続く関東随一の歴史と伝統に生きる焼き物です。笠間の土は、鉄分を多く含んだ土で、粒子が細かく、粘り気があり、出来上がった作品は硬く丈夫で日常雑器として理想的です。

笠間焼手洗いポールの施工例



◆紙の芸術(西ノ内和紙)◆

西ノ内和紙は350年の歴史を持ち、徳川光圀が編纂した「大日本史」も西ノ内和紙が使われています。西ノ内和紙の特徴は軽くて強く長持ちします。虫もつかないなどの特徴もあります。

西ノ内和紙の施工例



※国土交通省「地域型住宅ブランド化事業」のひとつ『いばらきnodo住宅』は国からの補助金制度を利用しています。お申し込みは棟数限定になります。詳しくは担当者にお尋ねください。